

# 『奈良県教育振興大綱』に示されている「施策の方向性」の概要

## 学びのステージに応じた教育のあり方

### 基礎を培う乳幼児期における保育・教育の充実

#### 就学前教育

#### ○家庭教育の支援

##### ・家庭教育支援のネットワークづくり

家庭教育支援の更なる充実を目指し、関係機関、関係団体との連携、協力を図るための連絡会議の設置など、ネットワークづくりを促進する。また、地域人材による家庭教育支援チームの普及とアウトリーチ活動の充実を図る。

##### ・親の育ちを応援する学びの機会の充実

「元氣なならっ子約束運動」の実施、「親学サポートブック」の活用、「家庭教育・家庭の日」の普及などの取組により家庭教育を啓発するとともに、家庭教育研修の実施や講師情報の提供などにより親の学びを支援する。

#### ○小学校教育との円滑な接続

接続期のカリキュラムの編成を目的とした、幼稚園教員等と小学校教員対象の研修会等を計画・実施し、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指す。

#### ○教育内容・教育方法の充実

##### ・就学前教育の推進体制の構築

幼稚園・保育所・認定こども園では、幼児教育の質の充実を図るため、県の関係部課による連絡調整会議を設けて連携を図るなど、就学前教育を推進するための体制を整備する。

##### ・「奈良県幼児の運動能力等実態調査」の実施

幼児の運動能力等の実態を調査分析し、幼児の健やかな心と体づくりを推進する。

##### ・「就学前教育プログラム」の策定

科学的な知見を活用し、就学前教育の内容を充実させ、乳幼児の心身の発育・発達を促すための適切な遊び・運動・しつけについて専門的観点から効果的な手法を検討し、「奈良県版就学前教育プログラム」を策定し普及する。

### 学ぶ力と意欲を伸ばし、豊かな人間性を育む学校教育の推進

#### 義務教育

#### ○教育内容・教育方法の充実

##### ・奈良県学力・学習状況調査の実施

児童生徒の学力や学習状況を把握し、指導の成果と課題を検証・改善するため、全国及び奈良県学力・学習状況調査を活用した授業改善を推進する。

##### ・学力向上フォーラムの実施

研究指定校において、確かな学力の育成に係る実践研究を進め、研究成果の発表など、その成果の普及を図る。

##### ・学力向上支援サイト「まなび一奈良」の活用

「全国学力・学習状況調査」から課題の見られた問題等をWeb配信するとともに、小学生がつまずきやすい内容の授業モデル等の動画を作成・配信し、学習指導を支援する。

##### ・小・中学校合同の授業研究の推進

同じ中学校区の小・中学校教員など、異なる校種の教員が一緒に参加する公開授業や授業研究等の研修を実施し、異校種間の円滑な接続とともに、教員の指導力向上を図る。

#### ○教育セミナーの実施

奈良県教育の課題解決を目指し、県立教育研究所員、指定研究員等が行った実践的研究の成果を発表し、本県教育の推進に役立つ。

#### ○「家庭学習の手引」、「進路の手引」等の配布・活用

子どもに家庭で主体的に学習する習慣を身に付けさせるため、「家庭学習の手引」を小学1年生とその保護者に配布し、活用を促す。また、高等学校への円滑な接続のため、「進路の手引」を中学1年生に配布し、活用を促す。

### 高等学校教育の質の向上

#### 高等学校教育

#### ○専門教育の教育内容及び設備の充実

情報化社会において必要となる情報活用能力をはじめとする情報や情報技術に関する教育、高い技術力・技能の習得が必要な職業教育などの教育内容とともに、教育設備の一層の充実に努める。

#### ○グローバル人材の育成

グローバル化が進展する国際社会で活躍するためのツールとしての英語力を育成するため、外国語教育の強化を図るとともに、高校生の海外留学等を促進する。

#### ○インターンシップ、ボランティア活動等の多様な体験活動の充実

勤労の尊さや創造する喜びを体得させ、望ましい勤労観・職業観を育成し、社会奉仕の精神を育むため、就業やボランティアに関わる体験的な活動を充実させる。

#### ○シティズンシップ教育の推進

社会の一員として自立し、権利と義務の行使により、社会に積極的に関わろうとする態度を身に付けさせるため、社会形成・社会参加に関する教育を推進する。有権者となりうる高校生世代に国家・社会の形成者として、現在から未来を担っていくという公共の精神を育み、行動につなげることを目指す。

#### ○高等学校等の中途退学者への柔軟な対応

「再入学」、「編入学」等の制度を用いて高等学校等の中途退学者の高等学校での学び直しを支援する。また、高等学校等の中途退学者の就職を支援するため、県立教育研究所に設置しているキャリアサポートセンターにおいて、就職相談、就職活動に関する情報提供などを行う。

#### ○学校の適正規模、適正配置やその環境整備

県立高等学校については、特色化・多様化を推進するとともに、今後も続く生徒数の減少に対応して学校の活力の維持・向上を図るために、適正な学校規模の確保と環境整備に努める必要があり、統合を視野に入れた再編を引き続き検討する。